

平成 28 年産 紀南の中晩柑産地情報

2016/12/05

1. 結実状況

本年の中晩柑結実量は、品種・園地によりバラツキはあるものの、各品種とも平年並みからやや多くなっている。

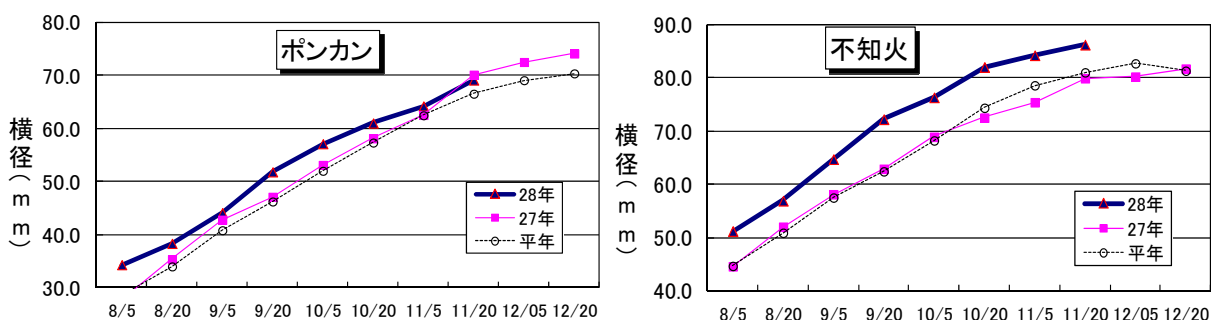


2. 果実の品質

10月31日時点の不知火の定点品質調査では、平均糖度が9.5%、平均酸度は1.62%と、糖度は前年よりやや低く、酸度は前年より減酸がすすんでいる。

11月21日時点の実肥りは、品種や着果量によってバラツキはあるが、ポンカンには前年並みで平年より大きく、不知火では前年・平年より大きくなっている。

中晩柑基準園の肥大状況



3. 収穫・販売予定

○木熟ポンカン

1月から本格的に収穫が始まり、2月下旬まで出荷予定。

○八朔・紅八朔

1月に入り収穫を開始、1月下旬までを予定。木熟八朔は3月上旬から販売予定。

○不知火 (デコポン)

ハウスは1月下旬から、露地は2月から販売開始予定。

4. 生産予想量 (11月末時点)

主要品種	面積 (ha)	生産予想量 (t)	生産量前年比 (%)
ポンカン	39.4	449	108.5
八朔	27.6	445	99.1
不知火	31.1	332	112.5
中晩柑合計	216.5	2,810	103.3

生産量は今後の気象等により変動することがある。